

日本共産党

高槻市会議員

きよた 純子



ニュース

2017年2月15日
NO. 59

発行：日本共産党高槻市会議員団 きよた純子
連絡先：議員団控室
TEL072-674-7230 FAX072-674-3202
上本町3-25 TEL/FAX. 676-5068

どの子どもも安心して暮らせる仕組みを （子どもの貧困対策）

子どもの貧困率が増え始めたのは1998年前後です。1996年に労働法制が改悪され、派遣労働を拡大その後、原則自由化し非正規労働者を急激に増やしました。

大阪府の非正規雇用労働者の率は41.3%、全国で4番目に高く、ワーキングプア率は14.2%、全国2番目です。それと関連し大阪の子どもの貧困率は21.8%、全国2番目に高い状況です。

子どもの貧困の

実態調査

「大阪府こどもの生活に関する実態調査」の単純集計の結果を大阪府が公表しました。調査は小学5年生、中学2年生とその保護者、8000世帯を対

象に実施。調査で目立ったのは貧困の拡大の実態です。昨年1年間の状況で「家計が赤字」と答えたのは、4世帯に1世帯。「貯蓄ができていない」世帯は35.4%。また、約3%は「経済的な理由で、子どもに医療機関を受診させられなかった」と答えています。

ひとり親家庭などを中心に、家庭の困難さは子どもの歯にも影響を与えていると指摘されています。保護者が仕事で忙しく子どもに、関われない状況などあります。子どもの着ている服が季節に合っているのか、子ど

子どもの貧困を 見逃さない 仕組みづくり

ひとり親家庭などを中心に、家庭の困難さは子どもの歯にも影響を与えていると指摘されています。保護者が仕事で忙しく子どもに、関われない状況などあります。子どもの着ている服が季節に合っているのか、子ど

もが発信するいろんな事象に気づくことが大事です。日本共産党市会議員団は子どもの体格や視力、虫歯の状況から見てくる貧困などを把握するなど、学校や就学前の児童施設での、子どもの貧困を見のがさない仕組みづくりに求めています。

地域で困難を抱える子どもを、どのように見つけ、地域で支えるのか、子どもが立ち寄りやすく、おとなが、そっと子どもたちを見守ることができ居場所が全国でつくられ始めています。地域で自主的につく

子どもの居場所 づくり、 学習支援について

地域で困難を抱える子どもを、どのように見つけ、地域で支えるのか、子どもが立ち寄りやすく、おとなが、そっと子どもたちを見守ることができ居場所が全国でつくられ始めています。地域で自主的につく

られているもの、NPOで実施しているもの、行政がかかわっているものなど、形態はさまざまです。高槻市でも学習支援などほどこで実施するのが一番効果的なのか、検討し支援をすることは必要です。

子ども、ひとり親 家庭への医療費助 成拡充を

大阪府の市町村への補助は、全国で比較しても少ないです。大阪府に補助金の増額を、要望することが必要です。

高槻市も『医療費助成は子育て世代の経済的負担軽減に寄与している』と市議会で答弁しています。



高齢者福祉専門分科会

高齢福祉事業の一部見直し（11事業）が高槻市から諮問され、1月30日の分科会で答申案の審議・結審となりました。前号でお知らせした街かどデイハウス事業についての審議内容の要旨を掲載します。

現在、街かどデイハウスの「居場所づくり」事業で体験教室や食事の提供など行なっており、引きこもり予防、生きがいづくりに役立っています。また、運動プログラム、健康チェックなどの総合的な介護予防を実施しています。答申では、「居場所づくり」への補助を段階的に廃止する代わりに運動プログラムへの委託料を増やすなど「事業を再構築」としました。

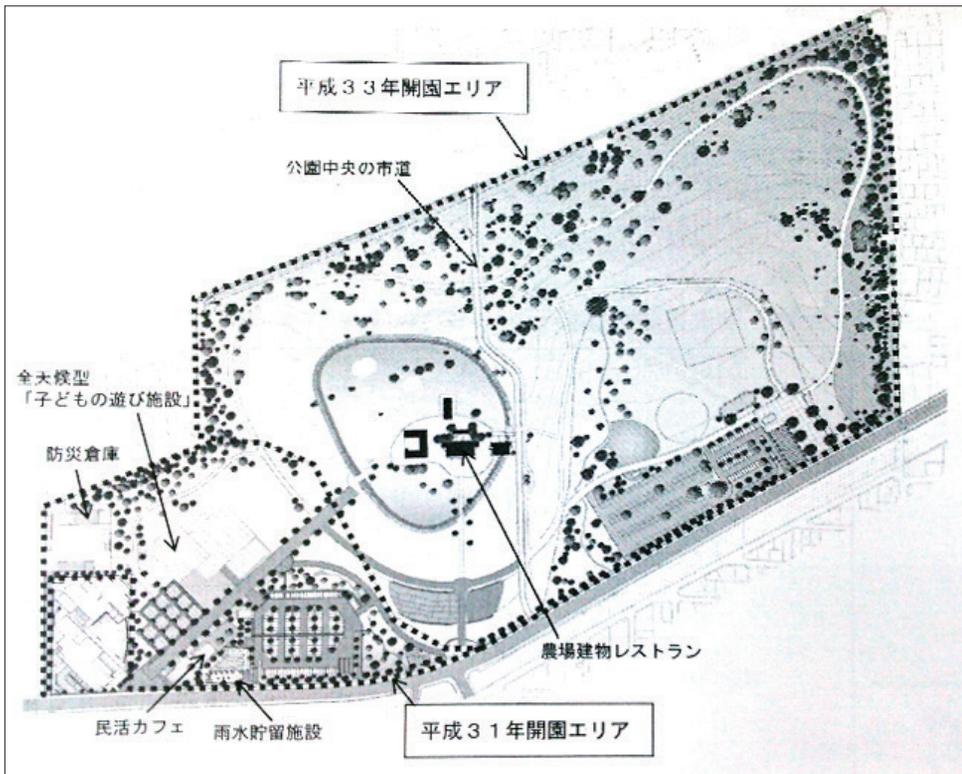
きよた市議は街かどデイハウスの事業者から、すでに「居場所づくり」の事業を縮小するとの声が出ていると指摘。4月からの補助金削減で事業者から、街かどデイハウス事業が維持できなくなるとの意見が市にも上げられていると答弁がありました。介護予防の体操などだけでは人が来なくなり、引きこもり予防が後退することが危惧されます。他の委員からも、居場所づくりの重要性を強調する意見が出されました。

見直し案が提案された12月26日からの短期間で、事業所連絡会から、高槻市に補助金廃止に反対する署名が約2300筆、利用者からの意見・要望が61件提出されました。

安満遺跡公園

遺跡と防災公園、子育て施設など市民のための公園に

安満遺跡公園は、弥生時代の暮らしぶりを現在に伝える貴重な遺跡として保存と活用を図り、多くの市民が楽しむ拠点として、遺跡公園、防災公園とする計画です。2月10日の史跡整備等特別委員会で安満遺跡公園整備計画の進捗状況の報告がありましたので、その一部を掲載します。



公園運営の基本的な考え方

運営形態は公募による指定管理を念頭に検討し、2019年の一次開園時には公園全体の管理運営事業者を決定する予定としています。そのうち、公園運営事業者以外が管理する施設については、「雨水貯留施設・公園中央の市道・防

小中一貫校より

中学校での35人学級を

小中一貫校教育学校のあり方について、昨年10月に答申されました。文科科学省が2014年に9年間を通じた系統的な教育をめざすとして、背景・質的充実への対応、中学進学時の不登校、いじめなど「中1ギャップ」への対応などをあげています。高槻市では

不登校は、小学校と中学校の先生の連携で2011年に31・3%が、2015年には24%まで減少しています。小中一貫校にしても、連携がとれれば不登校は解決できます。しかも、答申の中では、小中一貫校を設置する校区としてあげているのは、第4中学校の校区だけでした。教育内容のほかに、立地や面積、まちづくりの視点など課題があるので、市全体で検討することが望ましいと

3月議会日程

- 3月1日(水) 本会議/施政方針、提案理由説明
- 3月7日(火) 本会議/代表質問
- 3月8日(水) 本会議/質疑
- 3月9日(木) 本会議/質疑
- 3月13日(月) 福祉企業委員会
- 3月14日(火) 都市環境委員会
- 3月15日(水) 文教市民委員会
- 3月16日(木) 総務消防委員会
- 3月27日(月) 本会議/採決、一般質問
- 3月28日(火) 本会議/一般質問

ぜひ傍聴をお願いします
※いずれも午前10時開会です。

定例・市政相談会

きよた純子

第3(木)午後2時～4時

第1(日)午前10時～12時

場所：八幡町1-33

場所：川添2-3-12

TEL：673-0002

TEL：692-0144

事前に電話で
ご連絡ください
676-5068